

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 24 日 (2015.9.24)

【公開番号】特開 2015-32095 (P2015-32095A)

【公開日】平成 27 年 2 月 16 日 (2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報 2015-010

【出願番号】特願 2013-160401 (P2013-160401)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0485 (2013.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/048 6 5 6 D

G 0 6 F 3/048 6 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 8 月 7 日 (2015.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示画面を表示する表示手段 (3) と、

ユーザ操作を検知する操作検知手段 (4) と、

前記表示画面をスクロールするためのユーザ操作を前記操作検知手段により検知した場合に、前記表示画面をスクロールする制御手段 (2) と、を備え、

前記制御手段は、前記表示手段にて第 1 の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記操作検知手段により検知した場合に、前記第 1 の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じたスクロール方向及びスクロール速度にしたがって前記表示画面のスクロールを開始し、前記表示画面をスクロール中に、前記表示手段にて第 1 の指定位置とは異なる第 2 の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を前記表示手段にタッチしたまま前記第 1 の指定位置から前記第 2 の指定位置まで移動した操作を前記操作検知手段により検知した場合に、前記第 2 の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更することを特徴とする画面表示装置 (1)。

【請求項 2】

請求項 1 に記載した画面表示装置において、

前記制御手段は、前記表示画面をズームすると同時にスクロールするズームスクロール中に、前記表示手段にて前記第 2 の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を前記表示手段にタッチしたまま前記第 1 の指定位置から前記第 2 の指定位置まで移動した操作を前記操作検知手段により検知した場合にも、前記第 2 の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更することを特徴とする画面表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載した画面表示装置において、

前記制御手段は、前記表示手段の画面中心を前記所定位置とすることを特徴とする画面表示装置。

【請求項 4】

表示画面の表示態様を切換える画面表示方法において、

表示手段（３）にて第１の指定位置を指定するためのユーザ操作を検知する第１の手順と、

前記表示手段にて前記第１の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記第１の手順により検知した場合に、前記第１の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じたスクロール方向及びスクロール速度にしたがって前記表示画面のスクロールを開始する第２の手順と、

前記表示画面をスクロール中に、前記表示手段にて前記第１の指定位置とは異なる第２の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を前記表示手段にタッチしたまま前記第１の指定位置から前記第２の指定位置まで移動した操作を検知する第３の手順と

前記表示手段にて前記第２の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記第３の手順により検知した場合に、前記第２の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更する第４の手順と、を実行することを特徴とする画面表示方法。

【請求項５】

画面表示装置に設けられているコンピュータに、

表示手段（３）にて第１の指定位置を指定するためのユーザ操作を検知する第１の手順と、

前記表示手段にて前記第１の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記第１の手順により検知した場合に、前記第１の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じたスクロール方向及びスクロール速度にしたがって前記表示画面のスクロールを開始する第２の手順と、

前記表示画面をスクロール中に、前記表示手段にて前記第１の指定位置とは異なる第２の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を前記表示手段にタッチしたまま前記第１の指定位置から前記第２の指定位置まで移動した操作を検知する第３の手順と

前記表示手段にて前記第２の指定位置を指定するためのユーザ操作を前記第３の手順により検知した場合に、前記第２の指定位置と前記表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更する第４の手順と、を実行させるための画面表示プログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

請求項１に記載した発明によれば、制御手段は、表示画面をスクロールするためのユーザ操作を操作検知手段により検知すると、表示画面をスクロールする。制御手段は、表示手段にて第１の指定位置を指定するためのユーザ操作を検知すると、第１の指定位置と表示手段における所定位置との位置関係に応じたスクロール方向及びスクロール速度にしたがって表示画面のスクロールを開始する。その後、制御手段は、表示画面をスクロール中に、表示手段にて第１の指定位置とは異なる第２の指定位置を指定するためのユーザ操作としてユーザが指を表示手段にタッチしたまま第１の指定位置から第２の指定位置まで移動した操作を検知すると、第２の指定位置と表示手段における所定位置との位置関係に応じてスクロール方向及びスクロール速度を動的に変更する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

このように表示画面をスクロール中に、ユーザが指を表示手段にタッチしたまま第 1 の指定位置から第 2 の指定位置に移動すると、スクロール方向及びスクロール速度を動的に変更するようにした。これにより、表示画面をスクロール中に、ユーザがスクロール方向及びスクロール速度を変更したいという要望に応えることができる。その結果、スクロールの機能の性能を高めることで、操作性を高めることができる。